

## 第4号発刊に寄せて

教務部長・教職課程センター長  
谷 直 之

2020年は、日本だけでなく、世界中が、新型コロナウイルス感染症禍に振り回された1年となりました。特に学校関係では、緊急事態宣言の発令にともない、幼稚園、小学校から中学、高校、大学まで、遠隔での授業の実施と、消毒や換気等の感染拡大防止策の徹底が強く求められ、その後も、教育の現場は混乱と疲弊の極みと言っても過言ではない状態が続いています。

教職課程においても、(ある意味、最も大変で、しかし最も充実感を味わえる)教育実習の期間が短縮されたり、そもそも実施できなかつたりするなど、大きな苦難に襲われました。その中であって、少しでも実習生を受け入れようと努力してくださった学校関係の方々、教員への高い志を失わず努力した学生たち、知恵と工夫を重ねて学生たちを支えてくださった多くの教職員の方々に、心から感謝申し上げます。

本学においては、例年、延べ400人を超す学生が教育職員免許状を取得しており、新型コロナ禍にあっても、学生たちは教育に携わるという高い志と熱意を失うことなく、2020年度の教員採用試験合格者は61名にのぼっています。本年報には、普段、この学生たちへの教育指導にあっている教員による研究成果が掲載されています。本年報が、同志社女子大学の教職課程のさらなる充実と発展に寄与することを祈念いたします。

2021年2月